

平成 29 年 4 月入学 広島市立大学大学院 芸術学研究科博士前期課程 学生募集要項

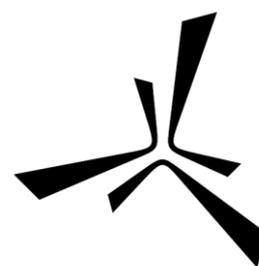
目 次

1	アドミッション・ポリシー	2
2	募集人員及び試験会場	2
3	出願資格	2
4	出願手続	3
5	入学者選抜方法	7
6	配点及び評価基準	9
7	合格者発表	9
8	入学手続	9
9	納付金等	10
	芸術学研究科博士前期課程の概要	11
	試験会場案内	14

本学所定様式

(以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。)

[A票] 入学志願票
[B票] 履歴票
[C票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
入学検定料振込依頼書
提出作品用紙
提出資料用紙



Hiroshima City University

発行：平成 28 年 11 月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 美術、デザイン、工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身につけたい人
- ・ 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人
- ・ 芸術に対する高度な感性を養い、幅広い芸術文化に関わる専門的な知識・研究能力を身につけたい人
- ・ 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身につけたい人

2 募集人員及び試験会場

研究科	専攻	募集人員	試験会場
芸術学研究科	造形芸術専攻	30名	広島市立大学

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者（(1)～(8)については平成29年3月31日までに取得見込みの者を含む。）

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学し又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年4月1日において22歳に達している者
- (10) その他本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注) 1 上記(8)、(9)又は(10)の資格により出願しようとする者は、出願資格の認定のため事前審査を行いますので、事前に本学事務局入試グループへ申し出たうえで、**平成28年11月18日(金)**までに、以下の書類を提出してください。郵送する場合は、**書留速達郵便**とし、封筒の表面に「**芸術学研究科事前審査申請書類在中**」と赤字で記載してください。直接持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までとします。

審査結果は、出願期間までに本人宛に郵送により通知します。

2 上記(8)により入学した場合、現に在学している大学は退学することになりますので、学士の学位は受けられません。そのため、各種国家試験等の受験資格がなくなることがあります。

【事前審査書類】提出書類のうち、外国語で書かれた書類等には、日本語訳を添付してください。

- ① 事前審査申請書（本学所定の様式）
- ② 履歴書（本学所定の様式）

- ③ 学歴・職歴・研究歴，その他学力を証明する書類
(在籍・成績・卒業・在職，その他学力を証明する書類)
- ④ 作品資料アルバム・研究論文等，研究活動がわかる資料及び審査の参考となるもの
- ⑤ 研究計画書 (400字程度)

4 出願手続

(1) 出願期間

平成28年12月26日(月)から平成29年1月6日(金)午後5時まで

郵送による出願書類の提出については，**出願期限前日の平成29年1月5日(木)までの消印がある書留速達**に限り，期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

(2) 出願方法

志願者は，出願書類等を一括して角形2号の封筒に入れ，郵送又は持参の方法により，出願期間内に本学事務局入試グループに提出してください(作品を除く。)。郵送の場合は**書留速達郵便**とし，封筒には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載してください。

持参の場合の受付時間は，午前9時から午後5時までです。

(3) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 広島市立大学事務局入試グループ

電話 (082)830-1503 E-mail nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp

(4) 出願書類等

出願に必要な書類等		作成方法
①	入学志願票 [A票]	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。記入にあたっては，欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。
②	履歴票 [B票]	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。記入にあたっては，欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。
③	受験票	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。
④	写真票	本学所定の様式に必要な事項を記入してください。出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cm，上半身，無帽，正面向き，背景なしの写真の裏面に氏名を記入し，のり付けてください。
⑤	入学検定料書票 入振込証明付	[C票] 入学検定料 30,000円 を，本学所定の振込依頼書により金融機関で振り込んでください。振込後，「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお，ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は，通帳及び印鑑(届印)が必要です。現金による振込はできません。また，本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。
⑥	成績証明書	出身大学(学部)長等が作成し， 厳封 されたものを提出してください。(本学の在籍者が出願する場合，厳封の必要はありません。)
⑦	卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長等が作成したものを提出してください。
⑧	研究計画書	各自の実技と理論の両方の研究課題(芸術理論研究分野の志願者は理論研究)についての研究計画書を，A4判で2,000字程度にまとめて提出してください。 2枚以上の場合，ホッチキスどめしないでください。
⑨	受験票送付用封筒	受験票の送付に使用するもので，定形封筒(長形3号，23.5cm×12cm)に住所，氏名を明記し， 82円分の切手を貼付 してください。持参により出願する場合も提出してください。
⑩	作品・資料 (絵画，彫刻，造形計画， 現代表現研究分野志願者)	作品・資料 の提出が課せられています。4ページ及び5ページの「(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおりです。
	論文 (芸術理論研究分野志願者)	論文 の提出が課せられています。4ページ及び5ページの「(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおりです。

- (注) 1 ①から⑤の様式及び入学検定料振込依頼書は、平成29年度芸術学研究科（博士前期課程）用を本学ウェブサイトからダウンロードし、印刷して使用してください。
- 2 特別な事情により成績証明書等の提出ができない場合は、これにかわる書類を提出してください。
 (大学評価・学位授与機構(旧学位授与機構)から学士の学位を授与(見込み)された場合は、短期大学成績証明書、専攻科・大学各成績(学位修得)証明書及び大学評価・学位授与機構(旧学位授与機構)の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書など)
- 3 出願書類の作成には、黒インクのペン又は黒インクのボールペンを使用してください。
- 4 出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

(5) 作品(論文)・資料の提出及び返却について

- ① 作品・資料の提出にあたっては、本学ウェブサイトから「提出作品用紙」・「提出資料用紙」の様式をダウンロードしてください。指定の様式以外は受付できません。「提出資料用紙」[添付用]を提出資料の表面に貼付してください。「提出作品用紙」[申告用]・[添付用]及び「提出資料用紙」[申告用]は作品提出当日持参し、芸術学研究科担当教員に提出してください。
- ② 作品・資料の提出及び返却は、次表に指定した日時に、必ず本人が立ち会いのもとに行ってください。(引き取りのない作品等の保管については、責任がもてないので十分留意すること。)
- ③ 芸術理論研究分野の志願者は5ページの表のとおり論文を提出してください。

専攻	研究分野	研究室	作品(論文)・資料の提出及び返却日時等	
造形 芸術 専攻	絵画研究	日本画A・B	提出物	①作品:50号2点, 1年以内に制作したものに限る。 ②資料:作品ファイル〔提出作品以外で5点以上の作品写真(A4判)。各作品の題名, 制作年, 材質及び寸法を記入のこと。〕
			提出日時	2月8日(水)9:00~10:30
			提出場所	実技試験当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。
			返却日時	2月8日(水)口述試験終了後
		返却場所	返却日当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。	
		油 絵 A・B・C	提出物	①作品:1点(100号~150号), 1年以内に制作したものに限る。 ②資料:素描画帖1冊(エスキース, 作品プラン, 文章を加えてもよい。) ③資料:作品ファイル1冊(各作品の写真。その制作年, 寸法を記入のこと。①を含んでもよい。)
			提出日時	2月8日(水)9:00~10:30
			提出場所	実技試験当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。
	返却日時		2月8日(水)16:30~17:30	
	返却場所	返却日当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。		
	彫刻研究	彫 刻A・B	提出物	①作品:2点以内, 1年以内に制作したものに限る。(作品の重量は1ピース2t程度までとする。) ②資料:作品ファイル〔提出作品以外で2点以上の作品写真(A4判)。各作品の題名, 制作年, 材質及び寸法を記入のこと。〕
			提出日時	2月7日(火)11:00~12:30
			提出場所	芸術学部第2工房棟木彫工房
			返却日時	2月8日(水)17:00~17:30
	返却場所	返却日当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。		
	造形計画 研究	視覚造形 立体造形 映像メディア造形 金属造形 染織造形 漆造形	提出物	①資料:作品ファイル ②作品:金属造形, 染織造形, 漆造形については, ①にあわせて, 実際の制作品を3点以内, 2年以内に制作した持参可能なものに限る。
提出日時			2月7日(火)11:00~12:00	
提出場所			受験票送付時に指示する。	
返却日時・場所			返却日当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。	

専攻	研究分野	研究室	作品（論文）・資料の提出及び返却日時等	
造形 芸術 専攻	現代表現 研究	現代表現	提出物	資料:ポートフォリオ（動作可能な電子メディア作品を含んでもよい。）
			提出日時	2月8日(水)9:00～10:30
			提出場所	受験票送付時に指示する。
			返却日時・場所	返却日当日, 芸術学研究科担当教員から指示する。
	芸術理論 研究	美学美術史	提出論文	芸術理論に関する4,000字以上の論文（同一のものを3部, 未発表・既発表の別は問わない。）
			提出日時・方法	1月27日(金)17:00までに郵送又は持参の方法により提出。
			提出場所	〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 広島市立大学事務局入試グループ
			返却について	原則として返却しない。学力検査等の実施後に提出した論文の返却を希望する場合は, 論文提出時に申し出ること。

(6) 入学検定料の免除

広島市内の者で, 入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は, これを免除します。事前に相談し, 平成28年11月18日(金)までに本学事務局入試グループに申請してください。

(注) 広島市内の者とは, 次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ア 平成28年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
- イ 配偶者又は1親等の親族が平成28年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
- ウ その他これらに準ずると認められる者

(7) 平成29年度入試の入学検定料の免除等について

本学では, 次の方を対象に, 平成29年度入試における特例措置として, 入学検定料の免除及び入学料の減免を実施します。

- ・東日本大震災で被災した志願者の方
- ・広島市において平成26年8月20日に発生した「平成26年8月豪雨」により被災した志願者の方
- ・熊本地震で被災した志願者の方

入学検定料の免除及び入学料の減免の申請をされる場合には, 事前に本学入試グループまでご相談ください。

(8) 出願上の注意事項

- ① 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので, 出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は, 出願事項の変更は認めません。ただし, 氏名, 住所, 電話番号に変更があった場合は, 本学事務局入試グループまですみやかに連絡してください。
- ③ いったん受付をした出願書類及び入学検定料は, 返還しません。
- ④ 入学を許可した後であっても, 出願書類の記載と相違する事実が生じたり, 発見された場合には, 入学を取り消すことがあります。

(9) 受験上及び修学上の配慮を必要とする者との事前相談

障害のある者等, 受験上及び修学上の配慮を必要とする者は, 申請書を作成し, 平成28年11月18日(金)までに本学事務局入試グループに相談してください。

申請書の様式は申出によりお渡しします。

(申請書の記載内容)

- ① 志願者の氏名, 住所 (連絡先電話番号)
- ② 志望研究室等
- ③ 障害等の種類・程度 (医師の診断書又は障害者手帳 (写) を添付)
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 日常生活の状況

(10) 個人情報の取扱い

- ① 出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。
また，同情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請，授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。
- ② 上記業務の一部は，個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で，外部の業者に委託する場合があります。

5 入学者選抜方法

入学者の選抜は、外国語試験、実技試験、筆記試験、口述試験等の結果及び出願書類等を総合して選考します。

(1) 学力検査等実施日時

専攻	研究分野	研究室	日 時	集合時間 集合場所		試験内容及び方法等
造形芸術専攻	絵画研究	日本画A・B	2月7日(火) 9:00～10:30	8:30 受験票送付時に指示	外国語試験	英語, 日本語のいずれか1か国語を選択する。(日本語を母国語とする人は英語を, 日本語以外を母国語とする人は日本語を選択すること。)各自の辞書持込み可。ただし, 電子辞書は不可。
			11:50～17:30	11:30 芸術学部棟 正面入口	実技試験	人体素描〔鉛筆, 消し具, 鉛筆削りを持参のこと。〕
			2月8日(水) 9:00～10:30		作品・資料提出	「4(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおり。
			13:00～	12:30 芸術学部棟 正面入口	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。
		油 絵 A・B・C	2月7日(火) 9:00～10:30	8:30 受験票送付時に指示	外国語試験	英語, 日本語のいずれか1か国語を選択する。(日本語を母国語とする人は英語を, 日本語以外を母国語とする人は日本語を選択すること。)各自の辞書持込み可。ただし, 電子辞書は不可。
			11:50～17:30	11:30 芸術学部棟 正面入口	実技試験	人体素描〔鉛筆, コンテ, 木炭(いずれも可), 消し具, 鉛筆削りを持参のこと。〕
			2月8日(水) 9:00～10:30		作品・資料提出	「4(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおり。
			13:00～	12:30 芸術学部棟 正面入口	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。
	彫刻研究	彫 刻A・B	2月7日(火) 9:00～10:30	8:30 受験票送付時に指示	外国語試験	英語, 日本語のいずれか1か国語を選択する。(日本語を母国語とする人は英語を, 日本語以外を母国語とする人は日本語を選択すること。)各自の辞書持込み可。ただし, 電子辞書は不可。
			11:00～12:30		作品・資料提出	「4(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおり。
			2月8日(水) 9:00～12:00	8:30 芸術学部棟 正面入口	実技試験	プランニングデッサン: 写真によって指定された場に対して, 彫刻作品の設置のプランニングを行い, デッサンで表現する。〔鉛筆, 消し具, 鉛筆削りを持参のこと。〕
			13:30～	13:15 芸術学部棟 正面入口	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。

専攻	研究分野	研究室	日 時	集合時間 集合場所	試験内容及び方法等	
造形芸術専攻	造形計画研究	視覚造形 立体造形 映像メディア造形 金属造形 染織造形 漆造形	2月7日(火) 9:00～10:30	8:30 受験票送付時に指示	外国語試験	英語, 日本語のいずれか1か国語を選択する。(日本語を母国語とする人は英語を, 日本語以外を母国語とする人は日本語を選択すること。) 各自の辞書持込み可。ただし, 電子辞書は不可。
			11:00～12:00	10:50 芸術学部棟 正面入口	作品・資料提出	「4(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおり。
			2月8日(水) 9:00～	受験票送付時に指示 芸術学部棟 正面入口	プレゼンテーション試験	これまでの研究成果と入学後の研究計画について15分以内でプレゼンテーションを行う。 レジュメ(発表内容を簡潔にまとめたもの)を必ず13部用意し, プレゼンテーション試験当日持参すること。レジュメ以外に発表用の配付資料がある場合は13部用意すること。
					口述試験	プレゼンテーション試験に引き続き個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。
	現代表現研究	現代表現	2月7日(火) 9:00～10:30	8:30 受験票送付時に指示	外国語試験	英語, 日本語のいずれか1か国語を選択する。(日本語を母国語とする人は英語を, 日本語以外を母国語とする人は日本語を選択すること。) 各自の辞書持込み可。ただし, 電子辞書は不可。
			12:30～16:30	12:00 芸術学部棟 正面入口	筆記試験	指定された作家についての作家論と自身の作品論。 (作家名については出願期限後に指示)
			2月8日(水) 9:00～10:30		作品・資料提出	「4(5)作品(論文)・資料の提出及び返却について」のとおり。
			13:30～	13:00 芸術学部棟 正面入口	口述試験	プレゼンテーション及び質疑応答を行う。試験時間は1人15分程度。
	芸術理論研究	美学美術史	2月7日(火) 9:00～10:30	8:30 受験票送付時に指示	外国語試験	英語, 日本語のいずれか1か国語を選択する。(日本語を母国語とする人は英語を, 日本語以外を母国語とする人は日本語を選択すること。) 各自の辞書持込み可。ただし, 電子辞書は不可。
			13:00～14:30	12:30 受験票送付時に指示	筆記試験	芸術理論に関する論述問題
			15:00～	14:45 受験票送付時に指示	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。

(2) 受験上の注意事項

- ① 絵画研究分野, 彫刻研究分野については, 用紙, カルトン, イーゼルは用意しますので持参は不要です。
- ② 受験者は(1)の表で指定された時間・場所に集合してください。
- ③ 外国語試験, 実技試験及び筆記試験については, 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし, 遅刻者の試験時間の延長は認めません。
- ④ 口述試験及びプレゼンテーション試験については, 試験開始後の遅刻は認めません。
- ⑤ 課せられた試験(作品等提出を含む)を一つでも受験しなかった者は受験資格を失います。
- ⑥ 会場内での撮影は禁止します。

6 配点及び評価基準

採点項目	研究分野等	評価基準	配点
作品・資料	絵 画	テーマ性，基礎的な技術，表現力等を総合的にみる。	300
	彫 刻		
	造形計画		
	現代表現		
論文	芸術理論	テーマ設定，独自の洞察力，構成力等を総合的にみる。	
研究計画書	全研究分野	研究意欲と研究能力をみる。	50
実技	絵 画	基礎的な技術，表現力等を総合的にみる。	100
	彫 刻	発想力，プランニング能力，表現力（デッサン力）をみる。	
プレゼンテーション	造形計画	思考伝達能力と研究能力を総合的にみる。	
筆記	現代表現	専門的な能力，表現力をみる。	
	芸術理論	専門的な研究能力をみる。	
外国語	全研究分野	読解力，翻訳能力をみる。	100
口述	全研究分野	研究意欲と研究能力，表現力をみる。	50
合計			600

7 合格者発表

平成29年2月15日(水)午前10時

本学の本部棟前掲示板に合格者の受験番号を掲示し，合格者に合格通知書を送付します。

また，本学のウェブサイト（<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>）でも合格者の受験番号を掲載しますが，参考情報ですので，本学掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお，電話，郵便等による問い合わせには応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

平成29年3月13日(月)から平成29年3月17日(金)まで（最終日は午後5時必着）

(2) 入学手続方法

① 入学手続に必要な書類等は，合格通知書とあわせて直接本人に送付します。

② 入学手続は，郵送又は直接持参により行ってください。

郵送による場合は必ず**書留速達郵便**とし，封筒に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ，**入学手続期間内に必着**するよう送付してください。

直接持参の場合受付場所は本学事務局入試グループ（本部棟2階）です。受付時間は，午前9時から午後5時までです。

③ 入学手続を完了した者には，入学手続期間終了後に，入学許可書を送付します。

(3) 提出書類

① 本学の受験票

② 誓約書（本学所定の様式）

③ 保証書（本学所定の様式）

④ 写真1枚（上半身，無帽，正面向き，背景なしで最近3か月以内に撮影した「縦4cm×横3cm」のもの。裏面に合格した研究科名及び氏名を記入してください。）

⑤ 住民票の写し（10 ページ「9 納付金等」の入学料が「広島市内の者」に該当する方のみ，その証明として必要になります。合格者本人が広島市内の者である場合は，本人分のみの住民票の写しを用意してください。その他の場合については，合格通知書に同封して郵送する，提出書類に関する通知をお読みください。）

(4) 入学手続先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
広島市立大学事務局入試グループ
電話 (082) 830-1503

(5) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を行わなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ いったん受理した入学手続書類及び入学料は、返還しません。
- ④ 卒業見込で出願した者は、卒業後、速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。

9 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

納付金		金額
入 学 料	広島市内の者（注）	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

注 広島市内の者とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

ア 平成28年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

イ 配偶者又は1親等の親族が平成28年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

ウ その他これらに準ずると認められる者

(2) 3月末までに納付するもの

納付金	金額
後援会費	20,000 円

注 後援会費には、学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。

(3) 入学後に納付するもの

納付金	金額	納付時期
授業料（年額 535,800 円）	267,900 円	4月末まで
	267,900 円	10月末まで

注1 金額は、平成28年度の金額です。

注2 改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される予定です。

注3 上記以外に教材費が必要になります。（彫刻研究分野は入学時に100,000円、その他の研究分野については、入学後に別途説明します。）

(4) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア 入学前1年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合

イ 入学前1年以内に、入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が広島市内の者であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳しくは、入学後の説明会でお知らせします。

芸術学研究科博士前期課程の概要

1 研究科の構成

博士前期課程は、造形芸術専攻1専攻からなり、日本画及び油絵に関する教育・研究を行う絵画研究、彫刻に関する教育・研究を行う彫刻研究、デザインと工芸の領域に関する分野の総合的な教育・研究を行う造形計画研究、複合的素材で現代の芸術表現を教育・研究する現代表現研究、美学、美術史等の理論に関する教育・研究を行う芸術理論研究の各研究分野によって構成する。

2 教育・研究内容

博士前期課程では、広範な活動領域において持続的な創作活動を行うことができるよう、高度な創作能力を育成するための体系的な教育を行う。

授業科目は、3研究科共通の全研究科共通科目群並びに芸術学研究科造形芸術専攻の開設科目で構成している。

造形芸術専攻各研究分野の教育・研究内容は以下のとおりである。

(1) 絵画研究分野

絵画研究分野では、日本画と油絵に関する教育・研究を行う。

日本画では、古典作品の表現、技法及び材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の現代における個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては、各人の個性的な創作力の育成を主体とする研究室と、創作力の育成及び古典模写を通して技法や材料の研究を深める研究室の二本立てとし、指導の多角化を図る。

油絵では、油彩の技法及び材料の理解と実践による造形感覚を修得するとともに、西洋画の絵画構造や理論について研究し、各自の個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては、技法や材料の研究を通して創作力を養う研究室、各人の個性的な創作力の育成を主体とする研究室、版画研究を軸に創作力を育成する研究室により構成し、多角的な研究指導に配慮する。

(2) 彫刻研究分野

学部で修得した基礎的技術を一層高度な芸術性の高いものとするため、塑造、木彫、石彫、金属等の各工房に分かれ、独創的な彫刻の研究を深める。

教育課程の編成に当たっては、主要な素材、技法の種別にしがたって2つの研究室により構成し、多角的な研究指導に配慮する。

(3) 造形計画研究分野

デザイン及び工芸の使命である「高次元の生活文化の創造」を基盤に据え、永年わが国に培われてきた独自の美意識の存在を探求するとともに、デザイン、工芸の各専門領域を深く掘り下げ、また両領域にまたがる課題への総合的な視点に立脚した新たな原形の創出を目的として、より高度な専門分野での造形研究を行う。

教育課程の編成に当たっては、多様化、多角化する生活文化や社会環境を構成する造形のあり方をデザイン、工芸両分野の総合的な視点から考察することに狙いを定め、生活社会を取り巻く造形分野にまたがる諸問題、諸課題への理解と認識を深めるとともに、各造形領域における新たな造形表現の創出と具現化に向けた指導に留意する。

そのため、分野の異なった複数の指導教員の指導を受けることも可能な形で科目編成を行い、従来の固定したデザイン、工芸の分野、領域に拘泥しない新たな造形教育、造形研究を目指す。

(4) 現代表現研究分野

素材や技法にとらわれず、現代に必要とされる芸術表現の研究とともに作品のコンセプト、プレゼンテーションを重視し、アートマネジメント等にも対応できる人材の育成と指導を行う。

現代表現研究では学部において従来の専門分野での基礎を十分修得した学内外の学生のうち、特に横断的指向性の高い学生が、更にその研究を博士前期課程において促進させることを目的とする。

(5) 芸術理論研究分野

現代の多様化した芸術表現や社会の要請に対応して、理論研究者、学芸員、ギャラリスト等と創作者が一体となって芸術活動に取り組む例が多く見られており、理論と実践の連携の必要性がより高まっている。

芸術理論研究では、美学、美術史等における理論的な分析や考察の能力を訓練して、高度な専門研究を遂行するための指導を行い、芸術に対する感性と思考力を兼ね備えて幅広く芸術文化に関わる分野で活躍する人材を育成する。

3 授与する学位の種類

授与する学位は「修士（芸術）」である。

4 修業年限

博士前期課程の修業年限は2年間とする。

担当教員

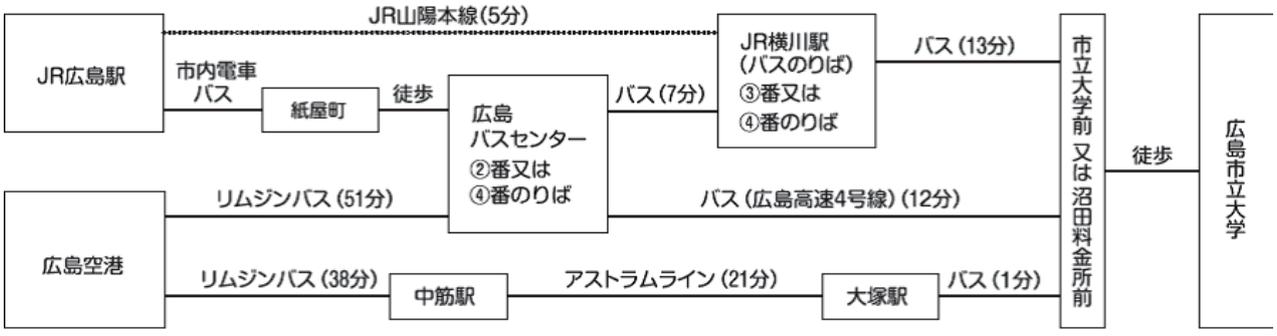
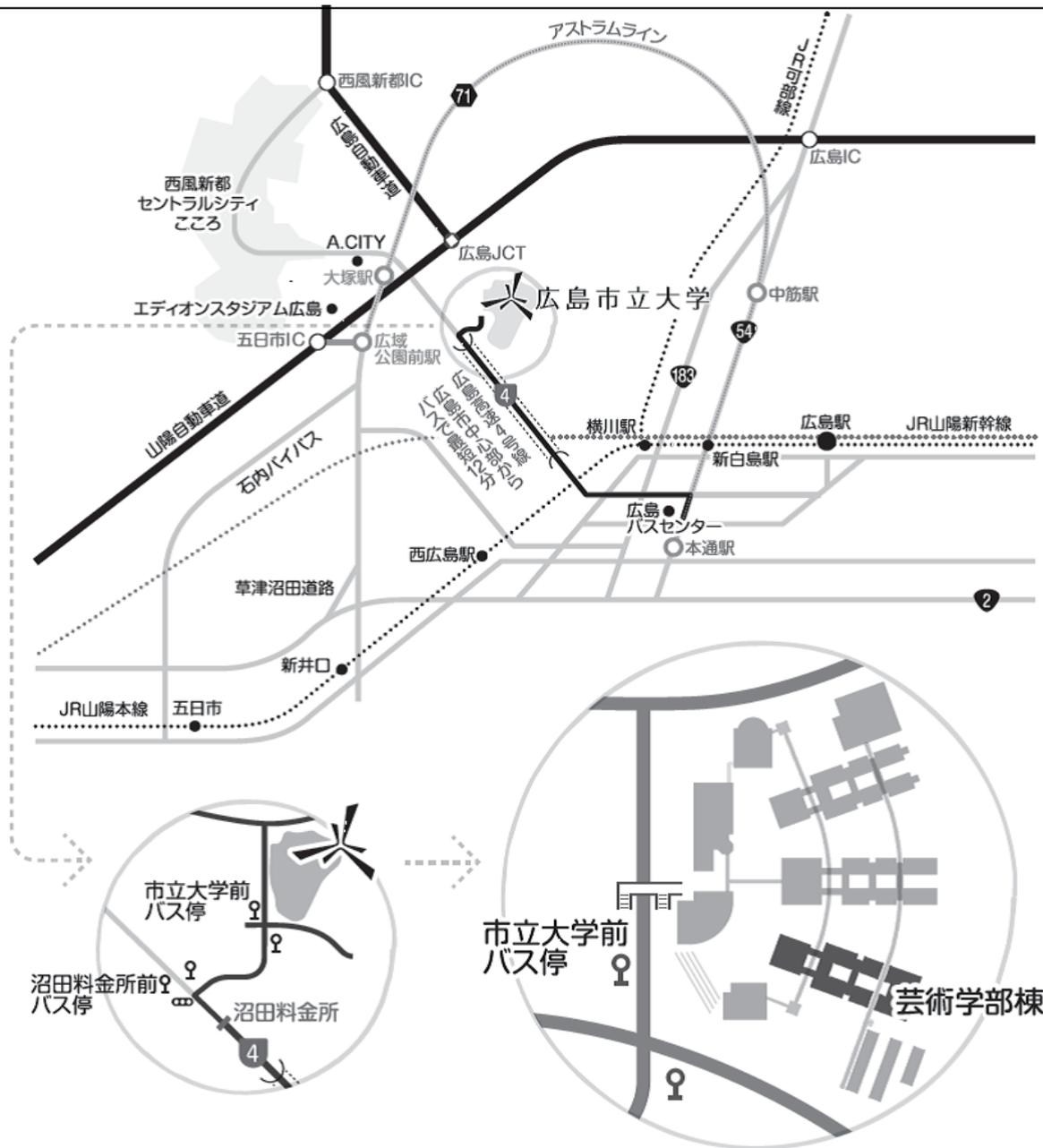
[平成 29 年度予定 (平成 28 年 11 月 1 日現在)]

専攻	研究分野	研究室	教育研究の概要	担当教員
造形芸術	絵画	日本画 A	制作主体のカリキュラムを通して、表現・技法及び材料についての理解を深めるとともに造形感覚の修得を図り、個性的な創造力を養う。	准教授 今村 雅弘 准教授 荒木 亨子
		日本画 B	制作と合わせて模写による古典研究を行う。高度な古典模写を通して技法や材料についての研究を深め、個性的な創造力を養う。	教授 藁谷 実 准教授 前田 力
		油絵 A	制作主体のカリキュラムを通して、西洋の古典技法や材料を理解し、造形感覚の練磨と創作力を養う。	教授 大矢 英雄 准教授 森永 昌司
		油絵 B	制作主体のカリキュラムを通して、絵画表現を現代の多様な視点から考察、展開し、創作力を養う。	准教授 諏訪 敦 講師 佐藤 尉隆
		油絵 C	制作主体のカリキュラムを通して、版画技法の修得とその表現の可能性を探る。同時に版画表現を展開し、より複合的かつ現代の造形表現の創作力を養う。	准教授 志水 児王 講師 釣谷 幸輝
	彫刻	彫刻 A	時代を超えた強度ある表現を、素材・造形・空間の関係性を念頭に追求し、技法として木彫・石彫・塑造を中心に高次の彫刻作品の確立を目指す。	教授 前川 義春 講師 田中 圭介
		彫刻 B	現代の状況を見据えた独創的な表現を、素材・造形・空間の関係性を念頭に追求し、技法として金属・ミクストメディア・テラコッタを中心に高次の彫刻作品の確立を目指す。	教授 伊東 敏光 教授 ウォーゼン, チャールズ
	造形計画	視覚造形	ヴィジュアル・コミュニケーション・デザインを軸に、様々な社会的課題に対して創造的にアプローチするとともに、その背景にある諸問題の調査・研究を通じて、文化芸術の新しい可能性を探求する。	教授 及川 久男 講師 中村 圭
		立体造形	プロダクト、機器デザイン分野を中心に、人とモノの関係を多視点から考察するとともに、人とモノとの関係における新たな表現の可能性を探求する。	教授 吉田 幸弘 講師 藤江 竜太郎
		映像メディア造形	高度に整備されたコンピュータ環境を活かし、多様なメディアを用いた、五感すべてに訴えかける芸術活動の可能性を探求する。	教授 笠原 浩 講師 有持 旭
		金属造形	我国の金属工芸の歴史を深く理解し、現代社会との関わりの中で高次の制作研究を深め、現代における金属造形の可能性と独自の表現を探求する。	教授 南 昌伸 教授 永見 文人
		染織造形	日本における染織工芸の伝統的な技法を基盤に独自の創造力を展開させ、現代社会との関わりの中なかで染織造形の新しい表現や可能性を探求する。	教授 倉内 啓 講師 野田 睦美
		漆造形	古くから人間生活と深い関わりを持つ漆に関し、その沿革、採取、性質、精製、用具材料、多岐にわたる技法等を探求する。	准教授 大塚 智嗣 (教員採用予定)
	現代表現	現代に必要とされる芸術表現を研究するとともに作品のプレゼンテーションを習得し、アートマネジメント等にも対応できる能力を修養する。	教授 鰐澤 達夫 (教員採用予定)	
	芸術理論	美学美術史	美学、美術史等における理論的な分析や考察の能力を訓練し、幅広く芸術文化に関わる分野で活躍できる能力を修養する。	教授 関村 誠 准教授 城市 真理子 (教員採用予定)

備考 志望する研究室及び指導教員の選択については、出願前に希望する教員と相談することが望ましい。

教員との事前相談は、本学事務局入試グループを通じて行うこと。(本学の在籍者は直接相談可。)

試験会場案内



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

- 所要時間は目安です。
- 広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を經由します。
広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、「市立大学前」バス停を經由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を經由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。